

令和6年 7月 9日
中部地方整備局

令和5年 中部地方一級河川の水質現況について

～令和5年 中部地方一級河川（13水系（41河川）102地点^{※1}）の水質測定結果～<水質が最も良好な地点^{※2}>

狩野川の大仁橋、安倍川の曙橋・安倍川橋、大井川の神座、鈴鹿川の勸進橋・鈴国橋、櫛田川の両郡橋・櫛田橋、宮川の岩出・度会橋など^{※3}の7水系14地点が令和5年の調査において水質が最も良好な地点でした。

<環境基準の満足状況^{※4}>

BOD又はCODの環境基準は、調査地点の98%（97地点/99地点）で環境基準を満足しました。

～令和5年 新しい水質指標による調査結果～

<人と河川の豊かなふれあいの確保>

9割以上の地点（39地点/40地点）が水遊びなどの直接的な親水活動ができると評価されました。

<豊かな生態系の確保>

全ての地点（35地点）が生物の生息・生育・繁殖環境として良好と評価されました。

<利用しやすい水質の確保>

全ての地点（18地点）が利用しやすい水質であると評価されました。

※1：内訳：河川類型指定95地点、河川類型未指定3地点、湖沼類型指定4地点

※2：各調査地点のBOD年平均値が0.5mg/L。評価地点数：河川類型指定95地点、河川類型未指定3地点の合計98地点

※3：柿田橋（柿田川）、牧ヶ谷橋（藁科川）、山口（根尾川）、和泉橋（安楽川）

※4：生活環境の保全に関しては、地域毎に基準値が定められており、BOD、COD75%値を指標。評価地点数：河川類型指定95地点、湖沼類型指定4地点の合計99地点を対象

1. 概要

令和5年の中部地方整備局管内の一級河川13水系（41河川）102地点における水質現況をお知らせします。

2. 配布資料

令和5年 中部地方一級河川の水質現況（パンフレット）

※詳細は以下の中部地方整備局ホームページをご覧ください。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/1kyukasen/index.htm>

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、
岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、
飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ
（全国版が国土交通記者会に配布されています。）

4. 問い合わせ先

中部地方整備局 河川部 河川環境課 課長 後藤 功次
課長補佐 船戸 総久

TEL（052）953－8151